

①停電信号を受け、シャットダウンスクリプトを実行 (WATCHBOOT mini及びTIMEBOOTシリーズのUPS連携機能)

任意の間隔(デフォルト10秒)でUPSの状態をモニタリングします。

指定時間以上停電信号(CS信号)を検知した場合にTELNET or SSHによるシャットダウンスクリプトを送出します。(送出先やスクリプトも任意設定出来ます)

※1、CD信号を受けて、ローバッテリー状態も検出します。

※2、シャットダウン終了後、ER信号を送り、UPSシャットダウンを行う事も可能です。

UPS連動設定
更新

基本設定
詳細設定
接点設定
セキュリティ設定

※特殊記号は利用できません。

UPS連動設定

| | |
|-----------------|--|
| UPS名称 | UPS510SS |
| UPSモニタ時間間隔 | 10 秒 |
| UPSシャットダウン開始時間 | 120 秒 |
| 停電検知レベル | <input type="radio"/> 負 <input checked="" type="radio"/> 正 |
| ローバッテリー検出レベル | <input type="radio"/> 負 <input checked="" type="radio"/> 正 |
| UPSシャットダウン信号レベル | <input type="radio"/> 負 <input checked="" type="radio"/> 正 |
| UPSシャットダウン有効化 | <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効 |

適用
リセット

| UPS情報 | |
|----------|----------|
| UPS名称 | UPS510SS |
| 給電状態 | 正常 |
| バッテリー状態 | 正常 |
| 商用入力異常回数 | 0 |

REMOTE SCHEDULE CONTROLLER

②一斉起動順番の指定

アウトレット毎に、0秒～3600秒のON遅延時間が設定出来ます。
(新F/Wであれば、変数 debOIPowerOnSTime にて設定)

③アウトレット個別制御、スケジュール制御

ネットワーク対応型ですので、PC或いはスマートフォン・タブレットといったモバイル端末等からも電源制御が可能です。

また、WATCHBOOTシリーズであれば週間スケジュール機能を、
TIMEBOOTシリーズであれば、年間スケジュール機能を有しています。

④ネットワーク機器の死活監視

アウトレット毎に、最大4箇所のPING実行先を設定出来ます。
設定した回数以上、PINGの応答が得られない場合には、
通信異常と判断し自動電源リブートを行う事で、
自動復旧を試みる事が出来ます。



「世界最小」クラス
常時インバータUPS
Super Smart シリーズ



期待寿命 **7年**
バッテリー搭載



⑤温度監視 / コントロール

OPTIONの温度センサ(RP-TS003)を利用する事で、温度監視が行えます。
警報温度・注意温度の閾値を任意で設定出来ます(上限/下限別)

また、閾値近辺での温度変化による、
頻繁な状態変化が起こらない様、
ヒステリシス温度も任意で
設定する事が可能です。

状態が【警報⇔注意⇔正常】内で
変化した際に、E-Mail、SNMPの
TRAP等でアラートを発報する事が
出来る他、警報状態に連動させて
電源を自動制御し、冷却ファン等を
稼働させる事で、
高度な温度コントロールシステムを
簡単に構築出来ます。